取扱説明書

バイオデックス社製

ゲイトトレーニングシステム3

BDX-GTM3

ショートハンドレール付

BDX-GTM3-SHR

ロングハンドレール付

BDX-GTM3-LHR

＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
＊正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
＊「取扱説明書」は
・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・1部を保存用として大切に保管してください。

SAKAImed

03-190①N9

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ･･･ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

⚠危険

○使用時の禁止事項

- **二人乗り（複数での歩行・走行）**
- **後ろ向き（前方以外の歩行・走行）**
- **はだしや運動に適さない下駄等のはきもの**
- **スパイク付運動靴のようにベルト走行面を傷付けるもの**
- **飛び乗り・飛び降り**
- **速度の上げすぎ**
- **傾斜の上げすぎ**

○緊急時の動作

- **危険を感じたときは、ただちに非常停止スイッチを押すか、または非常停止ロープを引っ張り、走行を止めてください。**
- **上記動作ができない場合は、手すりにつかまり両足を走行ベルトの外側に移動してください。**
- **自分で操作できなくなったときは助けを求め、非常停止スイッチを押してもらってください。また、転倒したとき、衣類や髪の毛がはさまれ難いように身なりをあらかじめ整えておいてください。**

⚠警告

○必ず本製品の管理者や指導者の監督のもとで、使用上の注意点などの説明を受けた上でトレーニングしてください。特に心肺機能の病気、高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満等の方は注意が必要です。

○トレーニング中にめまい、動悸、気分が悪くなるなどの症状が現れた場合には直ちに使用を中止し、速度を落としてください。

○機器の動作中に乗り降りすることは絶対にしないでください。

○トレーニング前後には必ずウォーミングアップ、クールダウンを行なってください。

○トレーニングを行う際は必ず非常停止ロープを利用者の衣類に取り付けてください。このとき、トレーニングの邪魔にならない位置に取り付けてください。

○停電時は直ちに使用を中止し、利用者は速やかに降りてください。

○ご使用の際は規定の電源電圧で使用してください。（AC100V、50／60 Hz）

⚠注意

〇本製品に異常が無いことを確認してから使用してください。

〇トレーニング中に機器から異音，異臭がしたら直ちに電源を切り、最寄りの営業所に連絡してください。

〇本体に水などの液体をかけないでください。また、小さな金属物を機器の上に置かないでください。

〇トレーニングの開始と終了時は手すりを使用してください。

〇利用者は必ず遅い速度からトレーニングを始めてください。指示者が速度の変更を行う場合は必ず利用者に知らせてから行ってください。

〇逆回転で使用する場合はベルトを停止させてから、利用者の向きを変えてください。

〇機器の改造や分解は行わないでください。故障した場合は最寄りの営業所に連絡してください。

〇電源コードを無理に引っ張ったりしないでください。

〇電源コードの上に重いものを置いたり、機器の下敷きにならないようにしてください。また、無理にねじったり、曲げたり,加工したりしないでください。

〇利用者が機器に乗っているときや使用中に電源を切らないでください。

〇長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグをンセントから抜いてください。

すべての商標は各権利保有者の所有によるものです。

本書の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。

製品の仕様変更により、記載の画面表示と実機の表示が異なる場合があります。

もくじ

はじめに 5

設置場所についての注意 5
使用時の禁止事項 5
電源についての注意 5
非常停止について 6
プリンターの接続 6
電源の接続 6

各部の名称 7

ゲイトトレーニングモード 8

利用者情報画面 8
バイオフィードバック設定画面 9
トレーニング画面 10
ハンドグリップ 12
トレーニング結果画面 13
プログレスレポート 16
標準データ 20

トレッドミルモード 21

クイックモード 21
マニュアルモード 23
プログラムモード 25

ユーティリティ 27

動作環境設定 27
利用者管理 29

メンテナンス 31

日常のメンテナンス 31
お手入れ 31
使用1000時間ごとのメンテナンス 31
デッキへの潤滑剤塗布について 32
ベルトの調整 32
始業点検 33

保証とアフターサービス 34

仕様 35

はじめに

ご使用前に本製品についてP.33の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。
また、これ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。
破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

設置場所についての注意

- 本製品を爆発性・可燃性の恐れのある場所では使用しないでください。
- 本製品を水まわりなどの感電の恐れのある場所では使用しないでください。
- 屋外やほこりの多いところ、直射日光のあたるところでは使用しないでください。
- 本製品の周辺には、障害物を置かないでください。
- 本製品は平らで安定した床面に設置してください。斜めの面に設置すると使用中に移動したり、転倒したりする恐れがあり事故やけがの原因になり危険です。
- 本製品を2台以上並べて設置する場合は、乗り降りや補助の邪魔にならない十分な間隔を空けてください。
- 初めて設置した場合や設置場所を移動させた場合はご使用前にゼロバランスを調整してください。ゼロ点がずれていると正しい測定ができない場合があります。
  手順はP.28「動作環境設定」を参照してください。

使用時の禁止事項

- **二人乗り（複数での歩行・走行）**
- **後ろ向き（前方以外の歩行・走行）**
- **はだしや運動に適さないハイヒールやサンダル・スリッパなどのはきもの**
- **スパイク付運動靴のようにベルト走行面を傷付けるもの**
- **飛び乗り・飛び降り**

電源についての注意

- 電源は規定(AC100V　50/60Hz　15A)のものを使用してください。
- 電源コードを引っ張ったり、コードが重量物の下敷きにならないように注意してください。
- 電源コードやプラグなどが破損している場合には使用を中止し、最寄りの営業所までご連絡ください。

⚠警告　必ず付属の電源コードを使用し、アースを確実に接続してください。

非常停止について

非常停止方法として３種類あります。
いずれもベルトは急速に減速し停止しますので、通常の停止には用いないでください。

- ディスプレー画面の STOP を押す
- 手すりの非常停止スイッチを押す
- 非常停止ロープを引っ張り本体から外す

また、非常停止ロープは接続されていないと動きません。

①非常停止ロープは前面フレーム左側にあるベルクロ部に取り付けます。

②もう一方の端を動作の妨げにならないように利用者の服に取り付けてください。

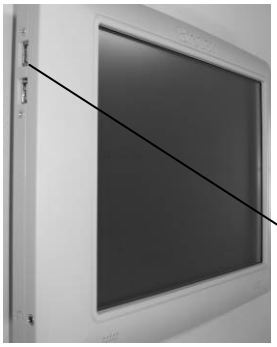
非常停止後は、利用者を速やかにベルトから降ろしてください。
その後、画面の指示に従い、続行ボタンを押して復帰させます。

プリンターの接続

①プリンターケーブルをディスプレーの USB ポートとプリンター本体に接続します。

②プリンターの電源コードを本製品下部のコンセントに接続します。
（メイン電源の左側に電源コンセントはあります）
このとき、プリンターケーブル、電源コードが走行ベルトに触れないように接続してください。

③プリンター本体をプリンタースタンドの上に置きます。
プリンタースタンドは動作の妨げや、利用者がケーブルを引っ掛けない位置に置いてください。



USBポートはディスプレーの左または下にあります。

プリンター背面と USB ポート

電源の接続

①電源コードを壁側コンセントに接続します。

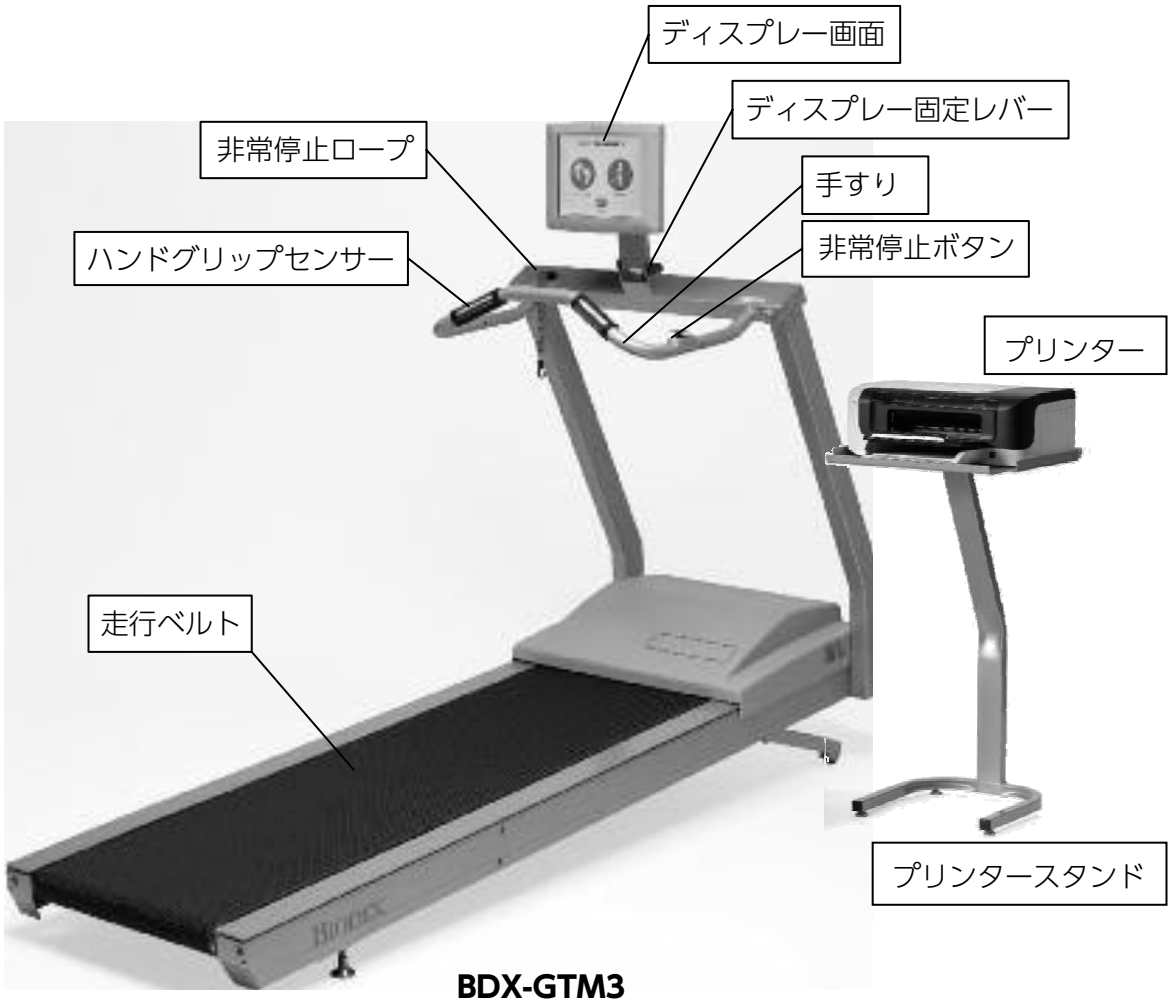
②電源コード横の電源スイッチを ON 側にします。

③ディスプレーが自動的に立ち上がり、開始画面を表示します。

開始画面

⚠注意　ディスプレーに電源スイッチがありません。ディスプレーにはスクリーンセーバー機能があり、一定時間操作を行わないと画面がブラックアウトします。再度使用する場合は画面をタッチしてください。通常はスクリーンセーバーを使用し、長時間使用しない場合は本体の電源を切ってください。

各部の名称



BDX-GTM3

BDX-GTM3-SHR

BDX-GTM3-LHR

ゲイトトレーニングモード

利用者の性別、身長と年齢を画面から入力するだけで標準的な歩幅が自動設定できます。
ステップサイクルは利用者の歩幅とベルトスピード（歩くスピード）から決定されます。

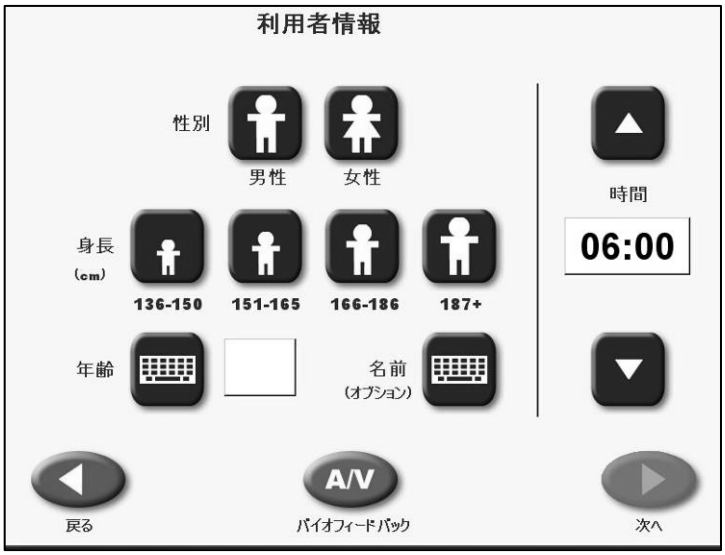
ゲイトトレーニングモードへは以下の手順で切り換えます。

① 開始画面で「ゲイトトレーニング」を押します。

② 利用者情報画面に切り替わります。

開始画面

利用者情報画面



利用者情報を入力して
A/V ボタンを押す

必須入力項目

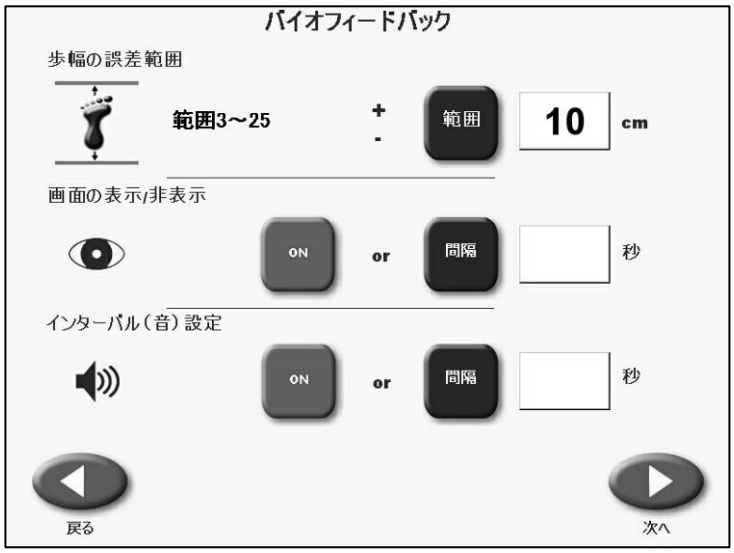
性 別
身 長
年 齢

３項目とも入力されていないと
次へ ボタンを押すことができません。

性別	男性・女性を選択します。
身長	該当する範囲のアイコンを選択します。
年齢	アイコンを押します。 入力用の 10 キーか ▲ ▼ ボタンで年齢を入力します。 （10～120 歳まで入力可能）
名前	アイコンを押します。 入力用のキーパッド画面で名前を入力します。
トレーニング時間	初期値：6：00 分 ▲ ▼ ボタンでトレーニング時間を変更します。

次へ	トレーニング画面（フットフォール画面かヒストグラム画面）になります。
戻る	開始画面に戻ります。
バイオフィードバック	バイオフィードバック設定画面になります。 トレーニング中の設定を変更することができます。

バイオフィードバック設定画面



バイオフィードバックの
設定をしたら、
次へボタンを押す

歩幅の許容範囲	歩幅の許容範囲を入力します。（初期値：±10 ㎝） **範囲**ボタンを押してキーパッド画面で、数字ボタンを押して許容範囲を入力します。 歩幅±許容範囲が正常な歩幅として認識されます。
画面の表示／非表示	フットパターン時のグラフィック表示/非表示を選択します。 自動切り替えをする場合は、**間隔**ボタンを押して ON/OFF の切り替え時間を入力します。
インターバル音設定	トレーニング時のテンポ音の ON/OFF を選択します。 自動切り替えをする場合は、**間隔**ボタンを押して ON/OFF の切り替え時間を入力します。

次へ	トレーニング画面（フットフォール画面かヒストグラム画面）になります。 変更した設定が有効になります。
戻る	利用者情報画面に戻ります。

トレーニング画面

①画面上の START ボタンを押すと走行ベルトが低速で動き出します。

②速度、歩幅を調節してベルト速度を設定します。

③**ゲイトトレーニング開始**ボタンを押してトレーニング開始します。

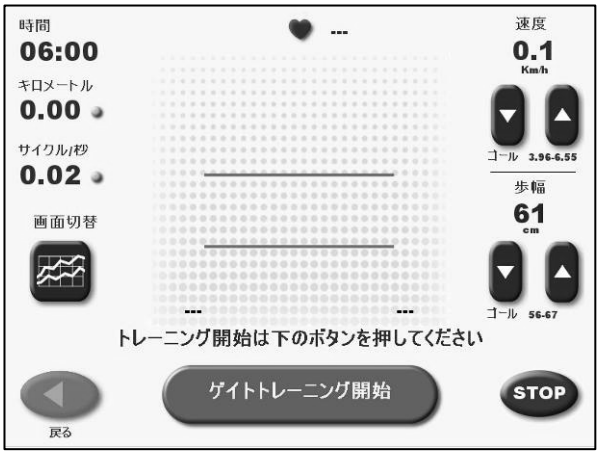
④左右の足がそれぞれの目標の枠内になるようにトレーニングします。

⑤トレーニング終了は**終了**ボタンを押すか、トレーニング時間が経過すると、ゆっくりと速度が落ちて停止します。

ご注意

最低速度は約 0.5 ㎞/ｈです。これより遅い速度の場合は**「データを収集する場合は 速度を上げてください」**のメッセージが表示され、ゲイトトレーニング開始ができません。

フットフォール画面とヒストグラム画面は、画面切替アイコンを押すごとに、いつでも切り替えることができます。

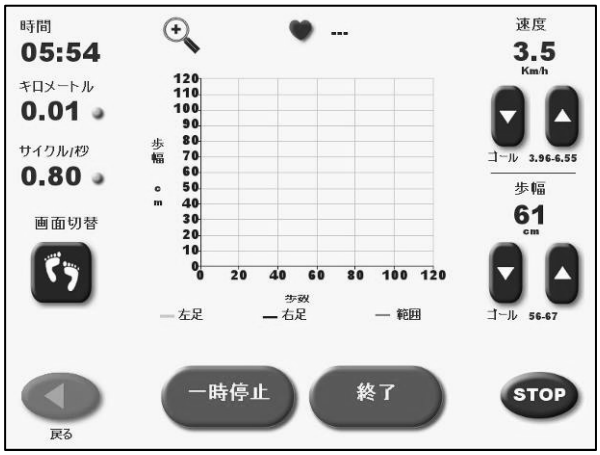


フットフォール画面

目標の線と着地した足型が表示されます。
足をついたときに目標に対してのずれ具合を表示します。
目標範囲の場合、着地した足型が目標の線の間に表示され、**「正常範囲」**と表示されます。
目標より小さい場合、線の後方に足型が表示され、**「歩幅を大きく」**とメッセージが表示されます。
目標より大きい場合、線の前方に足型が表示され、**「歩幅を小さく」**とメッセージが表示されます。

ご注意

トレーニング中の画面に表示される情報は、ベルトに着地したときの足の情報です。



ヒストグラム画面

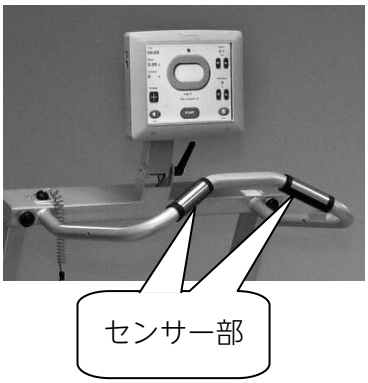
X 軸が歩行距離、Y 軸が歩幅の線グラフで表示します。
左足が赤線、右足が青線で、グラフ上に表示されている２本の黄色線内が目標範囲となります。
拡大鏡アイコンを押すとグラフ部分を拡大表示できます。
健常者の場合、目標との誤差は歩幅 約３㎝です。

速度（km/h）	▲ ▼ボタンで変更します。 初期値は 0.1(km/h)、0.1～7.2(km/h)の範囲で設定できます。 ゴールの数値は、身長と年齢から割り出した平均値です。
歩幅（cm）	▲ ▼ボタンで変更します。 脚長(cm)×0.69～0.86 の範囲で利用者に合った歩幅を設定します。 ゴールの数値は、身長と年齢から割り出した平均値です。
時間	トレーニングの残り時間を表示します。
距離（キロメートル）	トレーニング中の歩行距離を表示します。 距離の横の○ボタンを押すと単位をマイル、メートル、キロメートルに切り替えることができます。 ・目標距離を長くする場合 ： ベルト速度、歩幅の値を上げる ・目標距離を短くする場合 ： ベルト速度、歩幅の値を下げる
ステップサイクル（サイクル／秒） **ベルト速度と歩幅で、1 秒間に何回足がベルトに着地するか表示します。**	トレーニング中のステップサイクルを表示します。 サイクルの横の○ボタンを押すと単位を km/h、MPH、m/sec に切り替えることができます。 ・ステップサイクルを上げる場合 ：ベルト速度、歩幅の値を上げる ・ステップサイクルを下げる場合 ：ベルト速度、歩幅の値を下げる
心拍数（' マーク）	トレーニング中の心拍を表示します。 ハンドグリップセンサー部を両手で握ってください。（使用方法は P.12 を参照）
画面切替	アイコンを押すごとに**フットフォール／ヒストグラム画面**に切り替わります。
一時停止	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。 停止後、画面に再開、終了ボタンが表示されます。
再開	ボタンを押すとベルトが低速で動き出します。 速度の▲で速度設定し、**ゲイトトレーニング再開**ボタンを押してトレーニング再開します。
終了	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。 停止後、画面に再スタート、結果表示ボタンが表示されます。
再スタート	エクササイズ結果を破棄するとベルトが低速で動き出します。
ＳＴＯＰ	ボタンを押すと緊急停止します。**通常は使用しないでください。**

⚠注意　トレーニングを停止した場合は、ベルトが完全に止まるまで電源スイッチを OFF にしないでください。ベルトが急に停止してけがをする恐れがあります。

ハンドグリップ

心拍数を測定する場合、両手で金属部を握ります。このときグリップの金属部分（両面）にしっかり指が当たるように握ります。測定中は手を動かさないで、表示されるまで握りつづけてください。



ハンドグリップセンサーは、柔らかい布などで汚れを拭きとってから使用するようにしてください。アルコールや研磨材または化学製品は使用しないdでください。

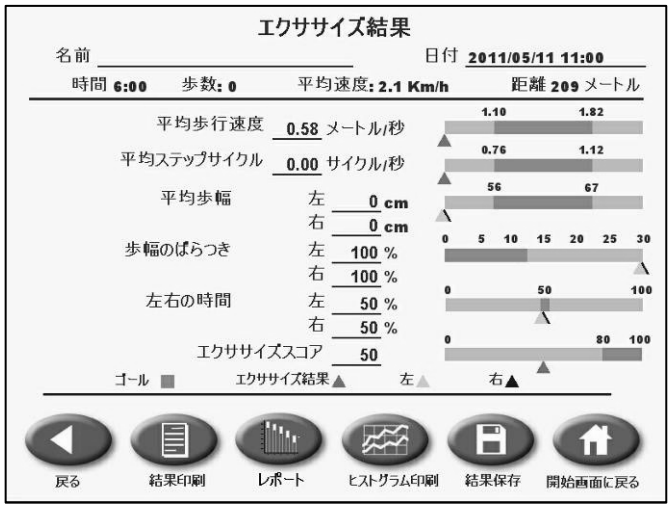
⚠警告　ハンドグリップセンサーは医療用ではありません。トレーニングの目安用のみの使用にとどめてください。

ご注意

最初に表示されるまで、時間がかかることがあります。また、ハンドグリップセンサーは利用者によっては心拍が出にくい場合があります。その場合は、水などで少し手を湿らしてから握ると心拍が比較的とりやすくなります。
心拍数が表示されない場合は握っている位置を再確認してください。
また、過度に握りしめないように注意してください。

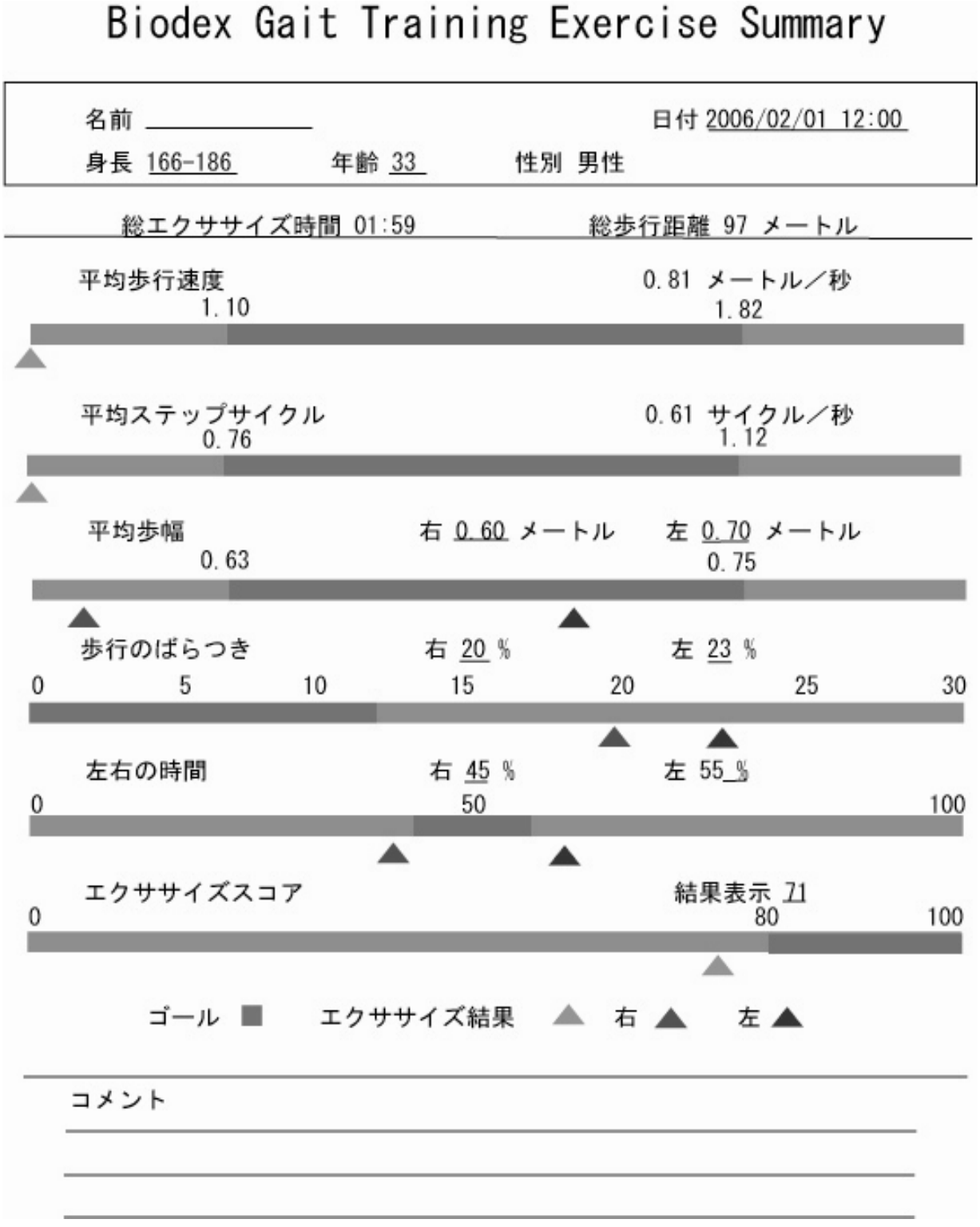
トレーニング結果画面

①トレーニングが終了し、ベルトが停止した後、結果表示ボタンを押してください。



エクササイズ結果画面

時間	トレーニングの開始からトレーニングの終了までの総エクササイズ時間を表示します。
歩数	トレーニング中の総歩数を表示します。
平均速度	トレーニング中の平均歩行速度です。(km/h)
距離	トレーニング中に歩行した総歩行距離を表します。
平均歩行速度	トレーニング中の平均歩行速度です。(メートル/秒) バーグラフ上の値は年齢と性別を基に計算した標準値になります。
平均ステップサイクル	トレーニング中の平均ステップサイクルです。
平均歩幅　右／左	トレーニング中のすべての歩幅を左右別に計算した平均値。
歩幅のばらつき　右／左	トレーニング中の左右の足別に計算された歩幅のばらつき。
左右の時間　右／左	トレーニング中の全ステップの左右の時間の割合。
エクササイズスコア	トレーニング中の歩幅のばらつき、時間のばらつき、ステップサイクルなどから計算されたトレーニングスコア。
戻る	フットフォール画面またはヒストグラム画面に戻ります。 戻る後に OK ボタンを押すと現在の測定データは消去されます。 キャンセルボタンを押すと戻るコマンドはキャンセルされます。
結果印刷	トレーニング結果を印刷します。
レポート（プログレスレポート印刷）	トレーニングの各種プログレスレポートを印刷します。 レポートを印刷するには名前を入力し、データを保存する必要があります。 同一の名前のデータをプログレスレポートとして印刷します。
ヒストグラム印刷	ヒストグラムデータを印刷します。
結果保存	ボタンを押すとトレーニングデータを保存します。テスト開始時に名前が入力されていない場合は名前の入力画面が表示されます。 記憶容量は　2．0MB　（約6000件）
開始画面に戻る	メインメニュー画面に戻ります。

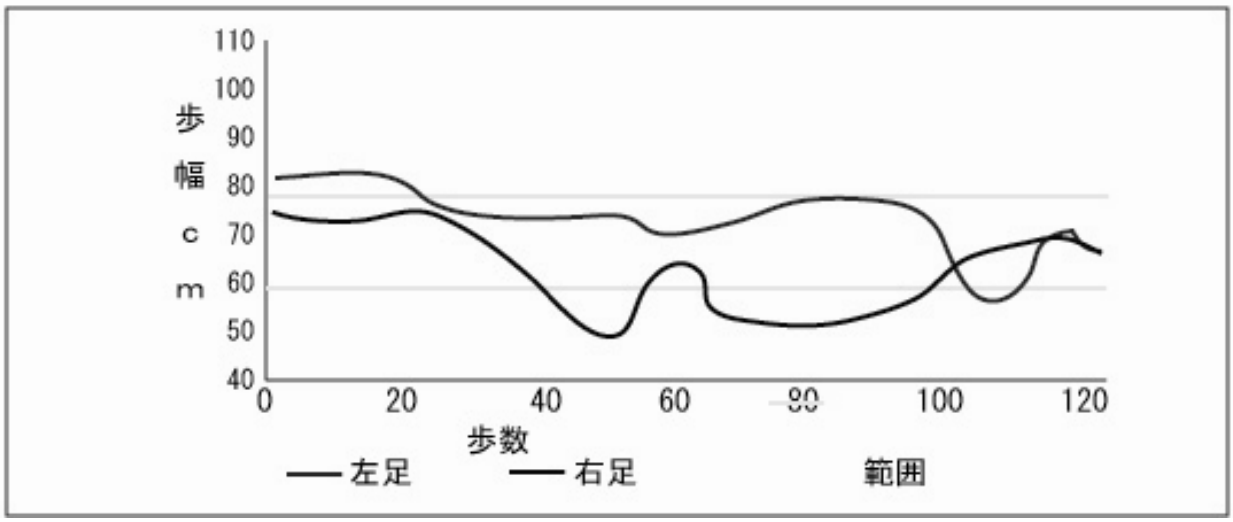

Biodex Gait Training Exercise Summary
名前
日付 2006/02/01 12:00
身長 166-186
年齢 33
性別 男性
総エクササイズ時間 01:59
総歩行距離 97 メートル
平均歩行速度
1.10
0.81 メートル／秒
1.82
平均ステップサイクル
0.76
0.61 サイクル／秒
1.12
平均歩幅
0.63
右 0.60 メートル
左 0.70 メートル
0.75
歩行のばらつき
右 20 %
左 23 %
0 5 10 15 20 25 30
左右の時間
右 45 %
左 55 %
0 50 100
エクササイズスコア
結果表示 71
0 80 100
ゴール
エクササイズ結果
右
左
コメント

トレーニング結果印刷

エクササイズヒストグラム

名前 _____ 日付 2006/02/01 12:00

身長 166-186 年齢 33 性別 男性

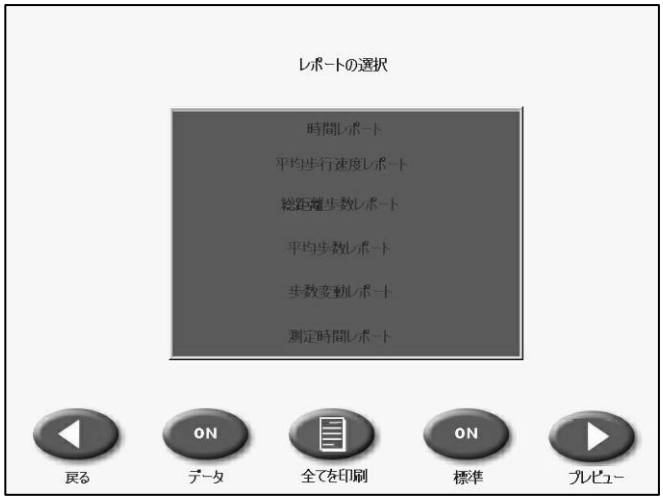


＊最大 1 ページにグラフが 3 つまで印刷されます。

ヒストグラム印刷

プログレスレポート

ゲイトトレーニングのプログレスレポートを印刷することができます。
プログレスレポートの印刷を行う場合は測定したトレーニングデータに被験者名をつけて保存する必要があります。同名の被験者名のデータでプログレスレポートを印刷します。



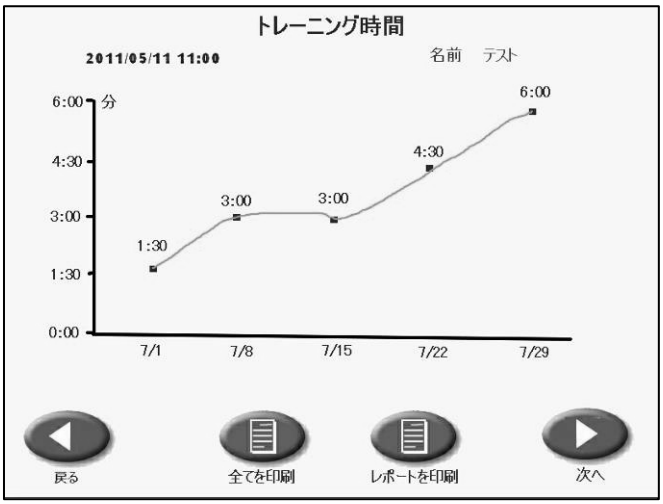
プログレスレポート選択画面

レポートの選択画面で選択されたレポートのプレビューまたは印刷を行うことができます。

時間レポート	トレーニング時間のプログレスレポートを作成します。
平均歩行速度レポート	平均歩行速度のプログレスレポートを作成します。
総距離歩数レポート	総歩行距離と歩数のプログレスレポートを作成します。
平均歩幅レポート	左右別平均歩幅のプログレスレポートを作成します。
歩幅変動レポート	左右別歩幅のばらつきのプログレスレポートを作成します。。
片足時間レポート	左右の時間率のプログレスレポートを作成します。

戻る	結果表示画面にに戻ります。
データ	表示されるデータの項目名が表示されます。
全てを印刷	選択されているプログレスレポート全てを一括印刷します。
ヒストグラム印刷	ヒストグラムデータを印刷します。
標準	レポート中に標準データを表示します。
プレビュー	プレビュー画面を表示します。

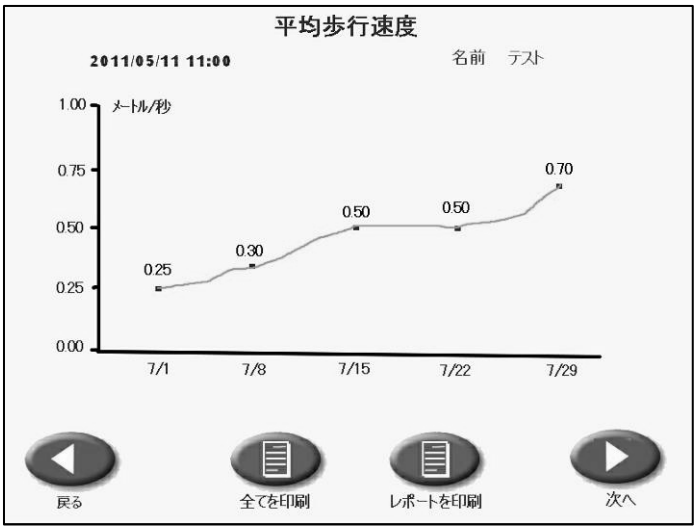
時間レポート



トレーニング時間のプログレスレポートが表示・印刷されます。

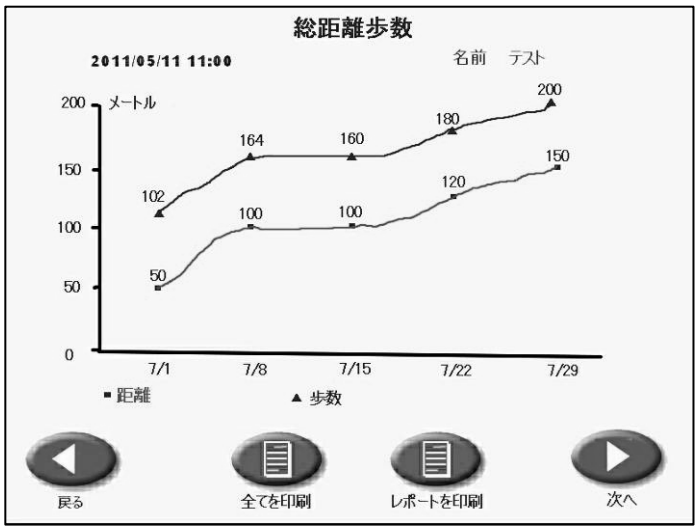
戻る	レポートの選択画面に戻ります。
全てを印刷	選択されているプログレスレポート全てを一括印刷します。
レポートを印刷	現在表示されているレポートを印刷します。
次へ	次に選択されているレポートのプレビュー画面に切り替わります。

平均歩行速度レポート



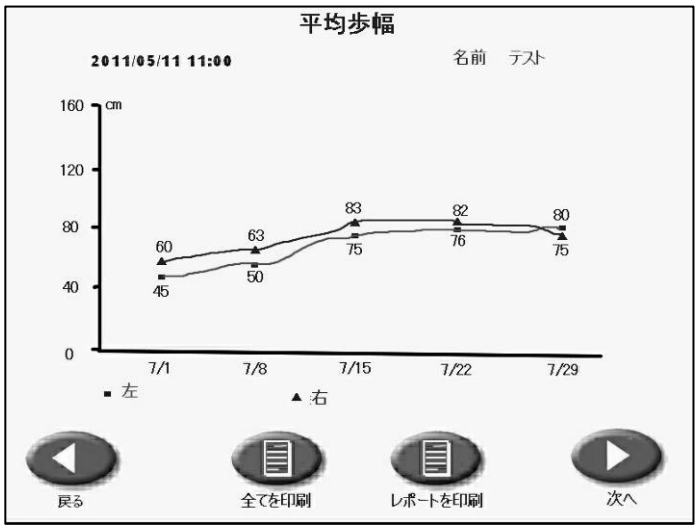
トレーニング中の平均歩行速度のプログレスレポートが表示・印刷されます。

総距離歩数レポート



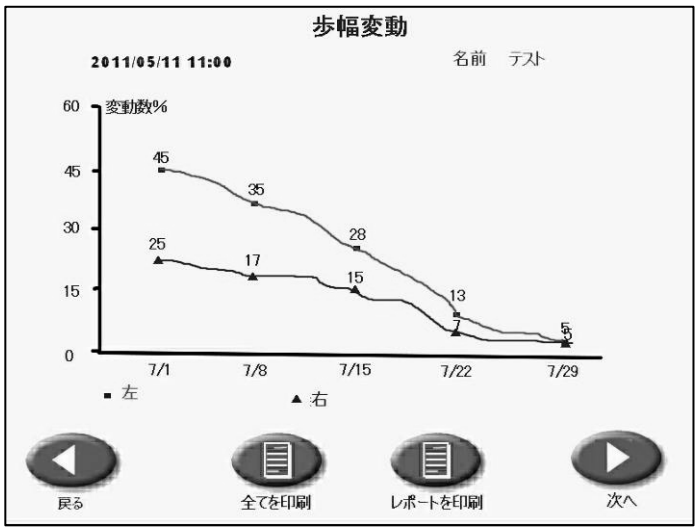
トレーニング中の総歩行距離と歩数のプログレスレポートが表示・印刷されます。

平均歩幅レポート



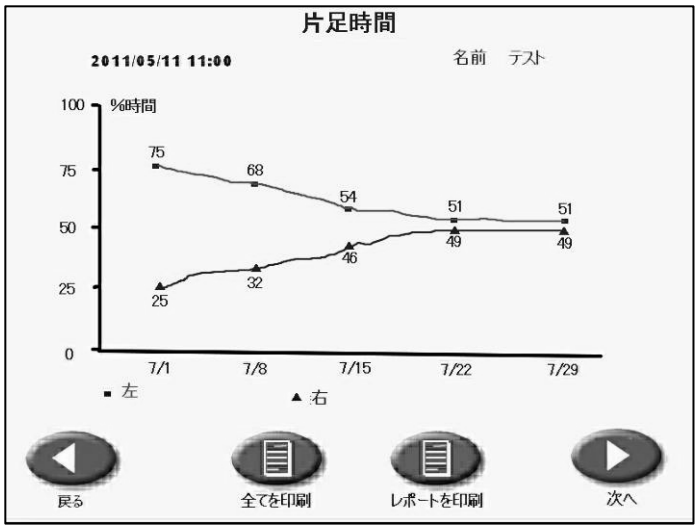
トレーニング中の左右別平均歩幅のプログレスレポートが表示・印刷されます・

歩幅変動レポート



トレーニング中の左右別の歩幅の変動率のプログレスレポートが表示・印刷されます。

片足時間レポート



トレーニング時の左右の時間率のプログレスレポートが表示・印刷されます。

標準データ

女性

年齢	リズム（Steps／min）	サイクルタイム（s）	ストライド（m）	スピード（m／s）
13-14	103-150	0.80-1.17	0.99-1.55	0.90-1.62
15-17	100-144	0.83-1.20	1.03-1.57	0.92-1.64
18-49	98-138	0.87-1.22	1.06-1.58	0.94-1.66
50-64	97-137	0.88-1.24	1.04-1.56	0.91-1.63
65-80	96-136	0.88-1.25	0.94-1.46	0.80-1.52

男性

年齢	リズム（Steps／min）	サイクルタイム（s）	ストライド（m）	スピード（m／s）
13-14	100-149	0.81-1.20	1.06-1.64	0.95-1.67
15-17	96-142	0.85-1.25	1.15-1.75	1.03-1.75
18-49	91-135	0.89-1.32	1.25-1.85	1.10-1.82
50-64	82-126	0.95-1.46	1.22-1.82	0.96-1.68
65-80	81-125	0.96-1.48	1.11-1.71	0.81-1.61

上記の標準データは
“Gait Analysis, An Introduction , 2nd Edition ,Michale W. Whittle, 1997, pgs.218-219”
を基に作成されています。

表中のサイクルタイムについてはゲイトトレーニングシステム３ではステップサイクルと表記し、サイクル／秒を使用しています。またストライドについては２歩の長さを表示しています。ゲイトトレーナー３では歩幅と表記し、１歩の長さを入力しますので半分の値になります。

トレッドミルモード

トレッドミルモードには、クイックモード・マニュアルモード・プログラムモード があります。

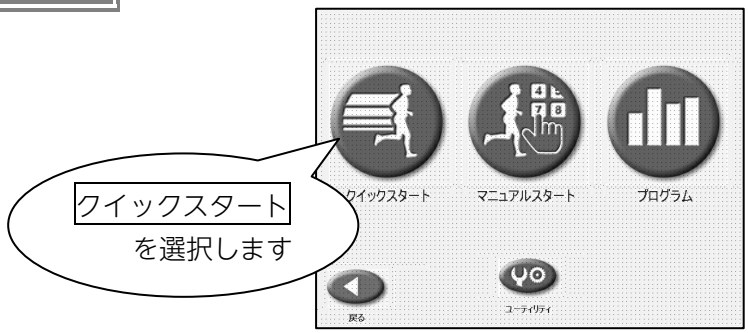
トレッドミルモードへは以下の手順で切り換えます。

① 開始画面で「トレッドミル」を押します。

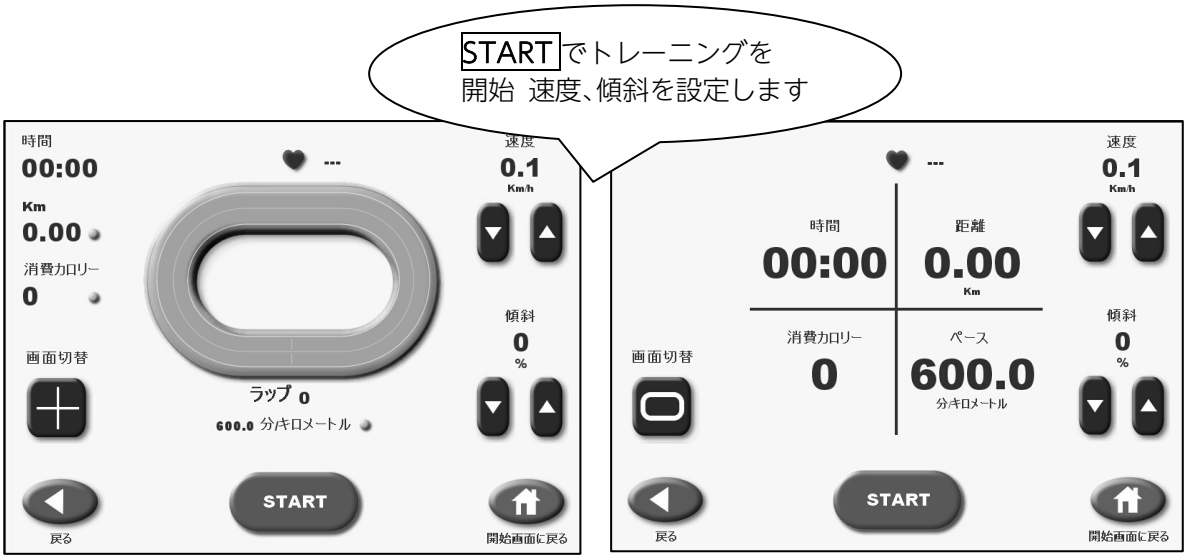
② 利用者情報画面に切り替わります。

開始画面

クイックモード



トレッドミルメニュー画面



トラック画面　　数値画面

トラック画面と数値画面は、画面切替アイコンを押すごとに、いつでも切り替えることができます。

①START ボタンを押すと走行ベルトが低速で動き出します。

②ベルト速度と傾斜を設定します。

③トレーニング終了は終了ボタンを押します。ゆっくりと速度が落ちて停止します。

速度	▲ ▼ボタンで変更します。 初期値は 0.1 ㎞/h、16 ㎞/h まで 0.1 ㎞/h 単位で設定できます。
傾斜	▲ ▼ボタンで変更します。0～15%の範囲で設定できます。
時間	トレーニング経過時間が表示されます。
距離（㎞）	トレーニング開始からの走行距離が表示されます。 単位はマイルとキロメートルを切り替えることができます。
消費カロリー	単位はカロリー，カロリー/時，METs を切り替えることができます。 カロリー　トレーニング開始から消費されたカロリー カロリー/時　現在の負荷でトレーニングを1時間行った場合の消費カロリーMETs　運動強度 デフォルト体重は 60㎏ で計算されています。
ラップ＊ （ペース）	1 ラップ 400ｍで、回った回数を表示しています。 ラップ下の表示は、現在の速度で1㎞または1マイル進むのにかかる時間（ペース）を表示しています。
心拍数（' マーク）	トレーニング中の心拍を表示します。 ハンドグリップセンサー部を両手で握ってください。（使用方法は P.12 を参照）
画面切替	アイコンを押すごとに**トラック／数値画面**に切り替わります。
一時停止	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。 停止後、画面に再開、終了ボタンが表示されます。
再開	ボタンを押すとゆっくり動き出します。
終了	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。 停止後 START 画面に戻ります。
ＳＴＯＰ	ボタンを押すと緊急停止します。**通常は使用しないでください。**

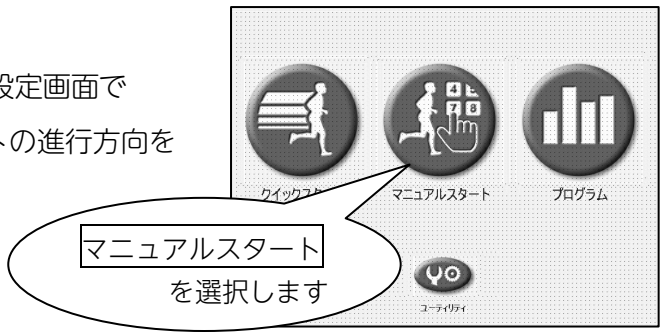
⚠注意　トレーニングを停止した場合は、ベルトが完全に止まるまで、電源スイッチを OFF にしないでください。ベルトが急に停止してけがをする恐れがあります。

参考

ペースで表示される時間はマイルを基準にしていますので、キロメートル表示の際には若干の誤差が出る場合があります。

マニュアルモード

マニュアルモードでは、トレーニング設定画面で
トレーニングの終了条件、体重、ベルトの進行方向を
設定することができます。



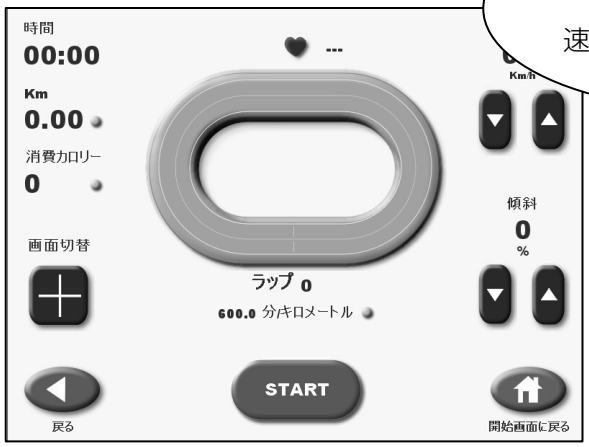
トレッドミルメニュー画面

トレーニング設定をします
終了したら、次へボタン

トレーニング設定画面

トレーニング終了	トレーニング終了の条件を**時間**、**距離**、**消費カロリー**のいずれかから選択します。初期値は**時間** ▲ ▼ボタン または 10 キーで数値を入力します。
体重	▲ ▼ボタン または 10 キーで数値を入力します。
ベルト方向	**正転**または**逆転**のいずれかを選択します。初期値は**正転**

START で
トレーニングを開始
速度、傾斜を設定します



トラック画面

数値画面

トラック画面と数値画面は、画面切替アイコンを押すごとに、いつでも切り替えることができます。

①START ボタンを押すと走行ベルトが低速で動き出します。

②ベルト速度と傾斜を設定します。

③トレーニング終了は終了ボタンを押します。ゆっくりと速度が落ちて停止します。

速度	▲ ▼ボタンで変更します。 初期値は 0.1 ㎞/h、 正転時 16 ㎞/h、逆転時 4.8 ㎞/h まで 0.1 ㎞/h 単位で設定できます。
傾斜	▲ ▼ボタンで変更します。0～15%の範囲で設定できます。
時間	トレーニング経過時間が表示されます。
距離（㎞）	トレーニング開始からの走行距離が表示されます。 単位はマイルとキロメートルを切り替えることができます。
消費カロリー	単位はカロリー, カロリー/時, METs を切り替えることができます。 カロリー トレーニング開始から消費されたカロリー カロリー/時 現在の負荷でトレーニングを1時間行った場合の消費カロリーMETs 運動強度 入力体重または 60㎏（デフォルト体重）で計算されています。
ラップ＊ （ペース）	1 ラップ 400ｍで、回った回数を表示しています。 ラップ下の表示は、現在の速度で1㎞または1マイル進むのにかかる時間（ペース）を表示しています。
ベルト方向	**逆転**のときのみ表示されます。
心拍数（' マーク）	トレーニング中の心拍を表示します。 ハンドグリップセンサー部を両手で握ってください。（使用方法は P.12 を参照）
画面切替	アイコンを押すごとに**トラック／数値画面**に切り替わります。
一時停止	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。 停止後、画面に再開、終了ボタンが表示されます。
再開	ボタンを押すとゆっくり動き出します。
終了	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。 停止後 START 画面に戻ります。
ＳＴＯＰ	ボタンを押すと緊急停止します。**通常は使用しないでください。**

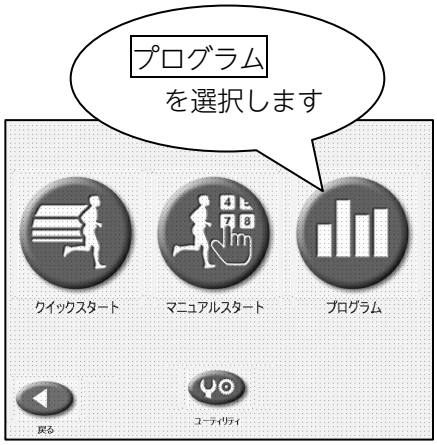
⚠注意　トレーニングを停止した場合は、ベルトが完全に止まるまで、電源スイッチを OFF にしないでください。ベルトが急に停止してけがをする恐れがあります。

参考

ペースで表示される時間はマイルを基準にしていますので、キロメートル表示の際には若干の誤差が出る場合があります。

プログラムモード

プログラムモードはあらかじめ設定された 5 種類のプログラムと 12 個のカスタムプログラムを作成することができます。
5 種類のプログラムはアネロビック・エアロビック・ピラミッド・サージ・ランダムで、傾斜は自動的に変動し、速度は利用者が自由に設定することができます。
カスタムプログラムは速度､傾斜を自動的に変動させる設定ができます。
いずれのプログラムも動作中に速度と傾斜を変更できます。

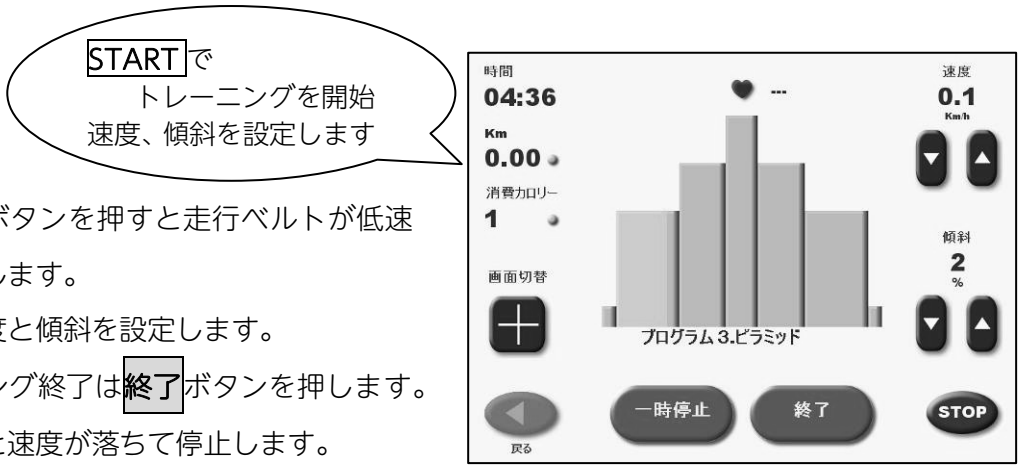


トレッドミルメニュー画面

プログラム選択画面

プログラム設定画面

最大傾斜入力	▲ ▼ボタンまたは 10 キーで数値を入力します。
時間入力	▲ ▼ボタンまたは 10 キーで数値を入力します。
体重入力	▲ ▼ボタンまたは 10 キーで数値を入力します。



①START ボタンを押すと走行ベルトが低速で動き出します。
②ベルト速度と傾斜を設定します。
③トレーニング終了は終了ボタンを押します。
ゆっくりと速度が落ちて停止します。

プログラムトレーニング画面

速度	▲ ▼ボタンで変更します。 初期値は 0.1 ㎞/h、16 ㎞/h まで 0.1 ㎞/h 単位で設定できます。
傾斜	▲ ▼ボタンで変更します。0～15%の範囲で設定できます。
時間	トレーニング経過時間が表示されます。
距離	トレーニング開始からの走行距離が表示されます。 単位はマイルとキロメートルを切り替えることができます。
消費カロリー	単位はカロリー，カロリー/時，METs を切り替えることができます。 カロリー トレーニング開始から消費されたカロリー カロリー/時 現在の負荷でトレーニングを1時間行った場合の消費カロリーMETs 運動強度 入力体重または 60㎏(デフォルト体重)で計算されています。
心拍数（' マーク）	トレーニング中の心拍を表示します。 ハンドグリップセンサー部を両手で握ってください。(使用方法はP.12を参照)
画面切替	アイコンを押すごとに**トラック／数値画面**に切り替わります。
一時停止	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。 停止後、画面に再開、終了ボタンが表示されます。
再開	一時停止後、ボタンを押すとゆっくり動き出します。
終了	ボタンを押すとゆっくり速度が落ちて停止します。 停止後 START 画面に戻ります。
ＳＴＯＰ	ボタンを押すと緊急停止します。**通常は使用しないでください。**

⚠注意　トレーニングを停止した場合は、ベルトが完全に止まるまで、電源スイッチを OFF にしないでください。ベルトが急に停止してけがをする恐れがあります。

＜カスタムプログラムの設定＞

①プログラム選択画面でカスタムを選択します。

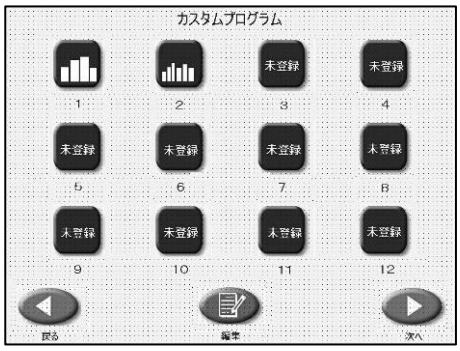
②編集を選択します。

③編集用パスワード 781 を入力します。

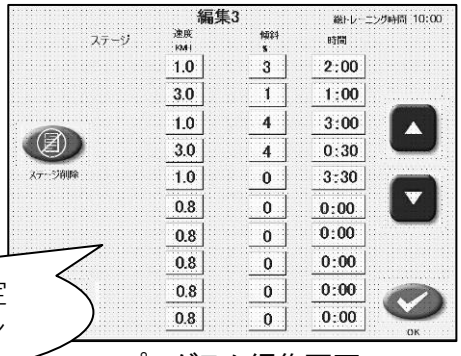
④カスタムプログラム画面で編集するプログラム番号 1～12 を選択し OK ボタンを押します。

⑤プログラム編集画面で速度、傾斜、時間を▲ ▼ボタンで設定します。最大 10 ステージ作成できます。また、ステージ削除ボタンを押すと編集したステージを削除できます。

⑥プログラムの編集が終了したら OK ボタンを押します。



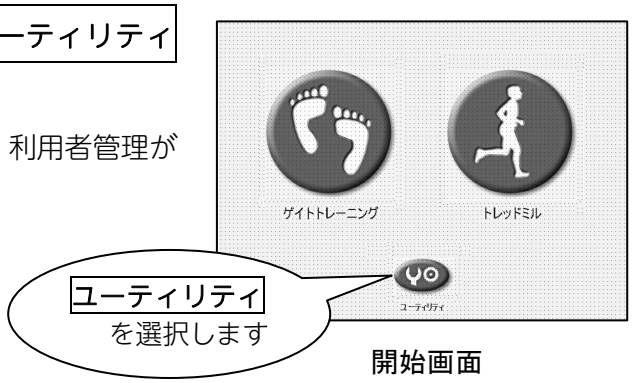
カスタムプログラム画面



プログラム編集画面

ユーティリティ

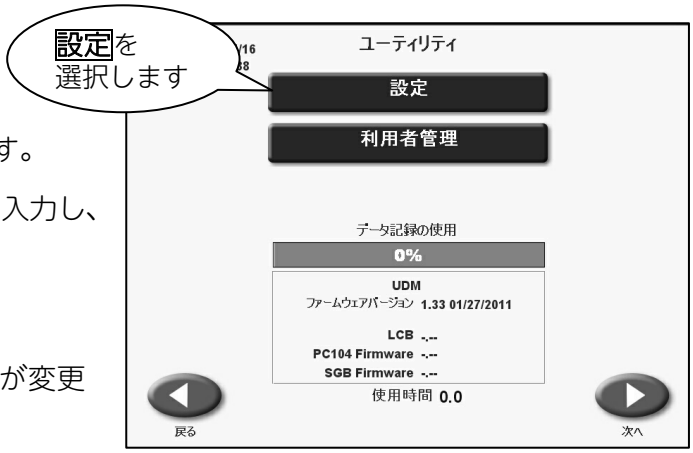
ユーティリティメニュー画面へは開始画面の**ユーティリティ**ボタンを押すことで切り替えることができます。
ユーティリティメニュー画面より動作環境設定、利用者管理ができます。
この画面にはファームウェアのバージョンと、使用時間の情報も表示されます。



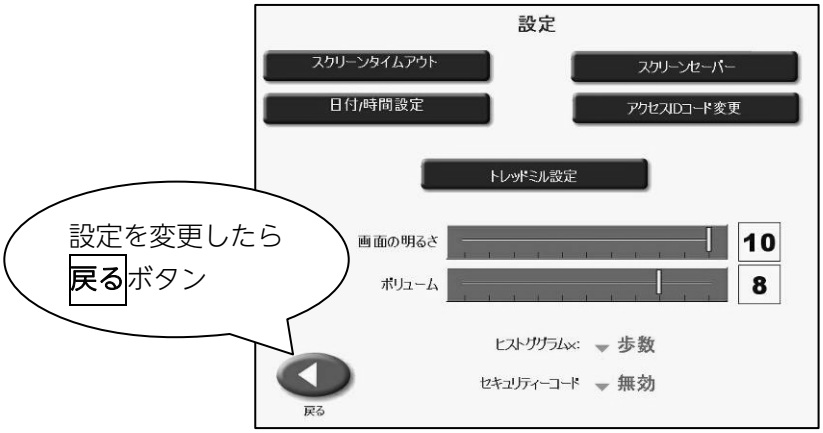
開始画面

動作環境設定

①ユーティリティ画面で**設定**を選択します。
②ＩＤ入力画面に切り替わったら781と入力し、OKボタンを押します。
③動作環境設定画面が表示されます。
④設定変更後は**戻る**ボタンを押すと設定が変更され、ユーティリティ画面に戻ります。
⑤再度、**戻る**ボタンを押すことで開始画面に戻ります。



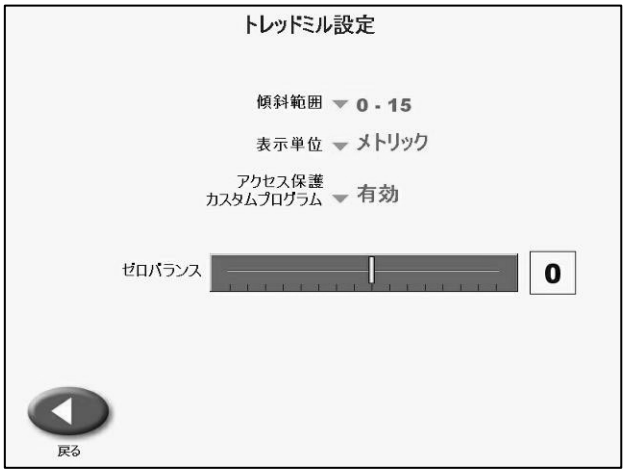
ユーティリティメニュー画面



動作環境設定画面

スクリーンタイムアウト	テストやトレーニング終了後の結果を表示しておく時間を設定します。 初期設定は 1:00 分です。0:00～30:00 分の間で変更できます。 ▲ ▼ボタンで変更し、OKボタンを押します。
日付／時間設定	システム日付、時間を設定します。 変更する項目を押し、フィールドが選択されたら、▲ ▼ボタンで変更し、OKボタンを押します。
スクリーンセーバー	画面のスクリーンセーバーが起動するまでの時間を設定します。 初期設定は 10 分です。▲ ▼ボタンで変更し、OKボタンを押します。

アクセスＩＤコード変更	ID入力画面で入力するIDを変更します。初期設定は「781」です。
トレッドミル設定	トレッドミル設定画面に切り替わります。
画面の明るさ	バーの目盛りを押して、明るさを調節します。0～10の間で変更できます。
ボリューム	バーの目盛りを押して、音量を調節します。0～10 の間で変更できます。
ヒストグラムｘ	グラフ表示のX軸の項目を設定します。初期設定は「歩数」です。
セキュリティコード	初期値 **無効** は変更しないでください。



トレッドミル設定画面

傾斜範囲	▽ボタンで傾斜幅を 0～15%または－3～12%のいずれを使用するかを設定します。初期値は 0～15%になっています。
表示単位	▽ボタンで表示単位をポンドまたはキログラムのいずれかを使用するか設定します。初期値はキログラムになっています。
アクセス保護カスタムプログラム	初期値 **有効** は変更しないでください。
ゼロバランス	ベルトクリーピングの調整を行います。ベルトが停止する位置に調節してください。

＜ゼロバランスについて＞

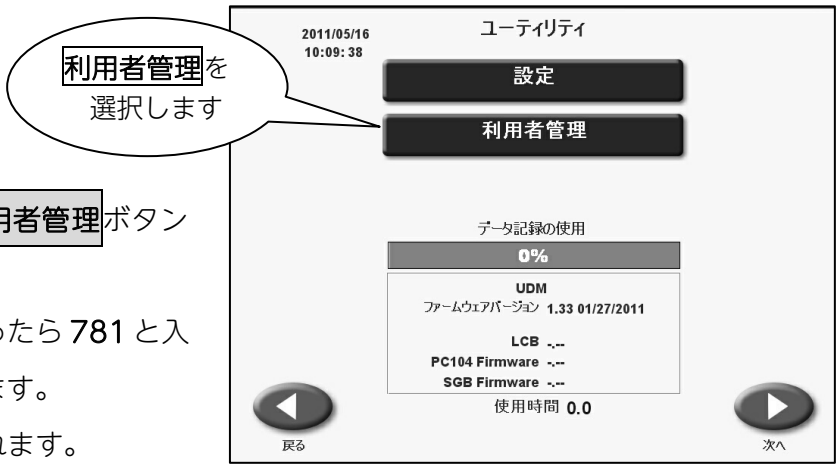
ゲイトトレーニングシステム３は直流モーターを使用しているため、機構上ゼロ点がずれてくることがあります。

スピードがゼロの状態でベルトの動きが大きい場合には数値を変更して調整してください。

調整してもベルトが完全に止まらない場合がありますが故障ではありませんので動きが一番小さくなるように変更してください。

（－7～8 の範囲でも止まらない場合は、本体カバーを開けての調整作業が必要となりますので、弊社 最寄りの営業所にご連絡ください。）

利用者管理



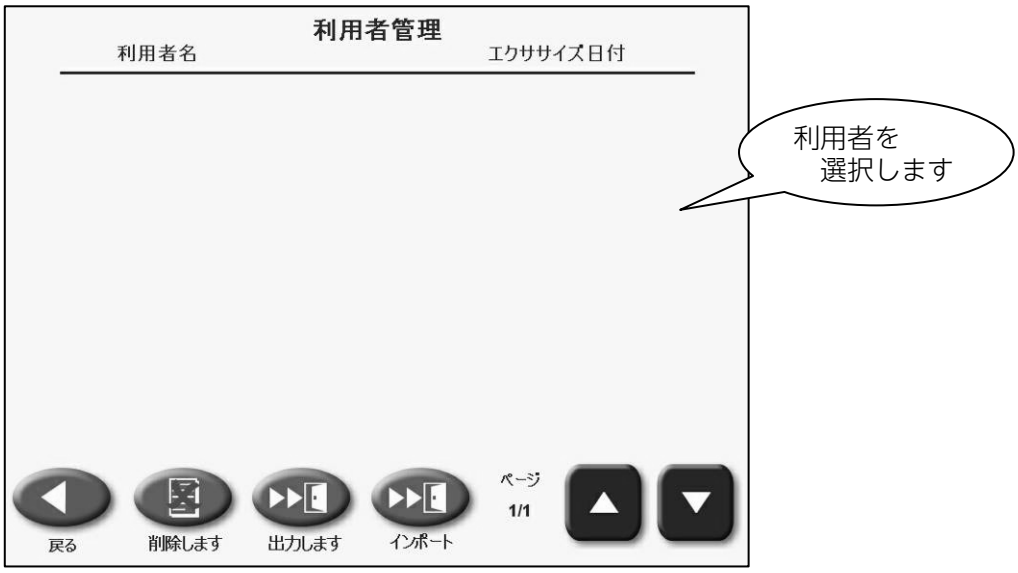
ユーティリティメニュー画面

①ユーティリティ画面で利用者管理ボタンを押します。

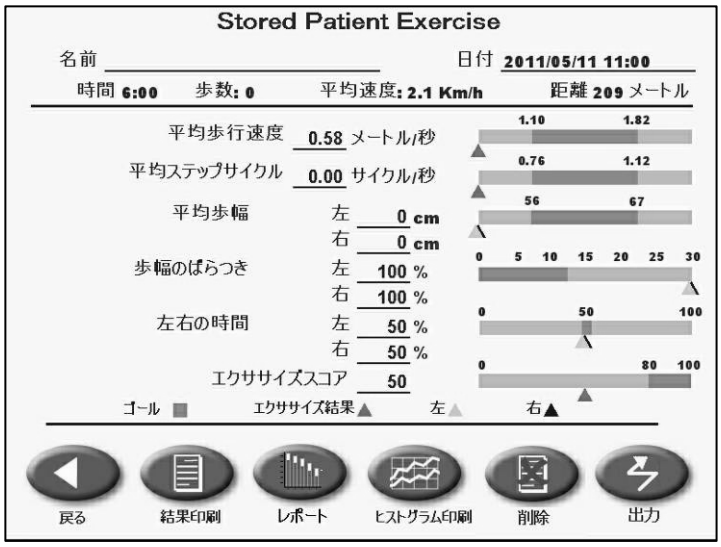
②ＩＤ入力画面に切り替わったら 781 と入力し、OK ボタンを押します。

③利用者管理画面が表示されます。

④利用者を選択すると、データ画面が表示されます。



利用者管理画面



データ画面

保存データの印刷

1．印刷を行う保存データを選択します。画面が切り替わり、データの内容が表示されます。

2．結果印刷ボタンまたはヒトグラム印刷ボタンを押してください。レポートボタンを押すとプログレスレポートを印刷することができます。

3．印刷後、利用者管理画面に戻ります。

保存データの削除

・ページごとの全件データ削除

(利用者管理画面に表示されている 1 画面分すべてのデータを削除することができます)

1．利用者管理画面で削除したいページを選択します。

2．ページ削除ボタンを押します。

3．確認メッセージが表示されますので、よければはいを押してください。

4．削除後、利用者管理画面に戻ります。

・1 件ごとのデータ削除

1．利用者管理画面から削除したいデータを選択します。

2．データ画面で削除ボタンを押します。

3．確認メッセージが表示されますので、よければはいを押してください。

4．削除後、利用者管理画面に戻ります。

メンテナンス

日常のメンテナンス

ゲイトトレーニングシステム３を長く安全に使用するためには、日常のメンテナンスは重要です。以下の表はメンテナンスの目安です。(使用状況、設置環境によって変化します)

項目	目安時間
スライダーデッキへの潤滑剤塗布	７５
スライダーデッキの反転	１０００
ベルトの取り替え	１０００
モーター、アンプの清掃	７５０
前面ローラーの清掃	３７５

お手入れ

本体の外装をぬるま湯か薄めた中性洗剤できれいに拭いてください。

ディスプレー画面の汚れは柔らかい布でふき取ってください。

⚠注意 ・アンモニアを含んでいるものは使用しないでください。
・画面部分をアルコールなどで拭かないでください。

使用1000時間ごとのメンテナンス

スライダーデッキの反転

スライダーデッキは両面使用することができます。使用時間が 1000 時間を超えたら反転するようにしてください。両面とも使用し終えたらスライダーデッキを交換してください。

ベルトの交換

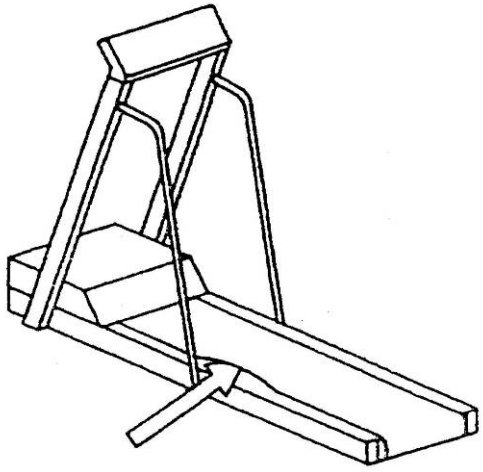
ベルトがひび割れてないか、裂けていないか確認してください。異常がなければそのまま使用しても構いません。異常がある場合はベルトを交換してください。

デッキへの潤滑剤塗布について

ベルトとスライダーデッキの間にスリップコートの塗布を行ってください。
適切なメンテナンスがベルト、スライダーデッキ、モーター、モーターコントローラーへの負担を減らし極端な傷みを防ぎます。

1．ベルトとスライダーデッキの間に約 1／3 量のスリップコートを塗ってください。
2．間に広げるため 1.5 ㎞のスピードで 10 歩程度歩いてください。
3．スリップコートを乾かすために約 10 分は使用しないでください。

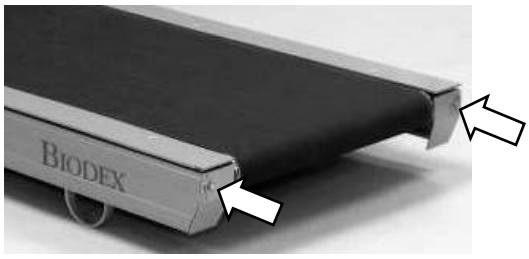
⚠注意　専用のスリップコートを必ず使用してください。ほかのグリスなどはローラー類にたまり故障の原因になる恐れがあります。



ベルトとデッキの間にスリップコートを塗布してください。

ベルトの調整

ベルトスピードが一定にならない、踏み込んだときにベルトが止まってしまう、などの場合はベルトテンションの調整が必要です。
テンションの調整は左右の 9／16 インチボルトで行います。左右同じトルクで調整してください。
ベルトを締める場合は時計まわり、緩める場合は反時計まわりに回してください。



また、ベルトを停止させる力を加えた場合（このときベルトスピードは約 0.5mph）ドライブローラーのみが回転するように調整してください。このときドライブローラーも一緒に止まってしまう場合はテンションがきつすぎます。

始業点検

- 本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外 観	周囲の障害物の有無	目視
	本体の安定性	水平な面に置かれ、安定していることを確認
	コードの状態	本体やキャスターにはさみ込まれていないこと、傷や破損がないことを確認
	各部品のはずれ、ガタつき、取付ボルトの緩み、脱落	目視 　または、スパナ等による確認
	ディスプレーの固定	レバーでしっかりと固定されていることを確認
	走行ベルト・フレームの損傷	傷・変形・破損・磨耗などないことを確認
	走行ベルトの張り	ベルトがたるんでないことを確認
	手すりの状態	がたつきがなく、しっかりと固定されていることを確認
	走行ベルト・手すりの汚れ	目視
機 能	電源の接続	確実に接続されていることを確認
	各ボタンの状態	ボタンの動作が正常であることを確認
	非常停止の状態	正常に作動することを確認
	傾斜の動き	動きがスムーズであることを確認
	ディスプレー表示の状態	表示が正常であることの確認
	走行ベルトの状態	走行して回転にむらがなく、異常な音や匂いがないことを確認

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。
  機種名 ： *BDX-GTM3*、*BDX-GTM3-SHR*、*BDX-GTM3-LHR*
  お買い上げ年月日
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決して開けたり分解したりしないでください。

定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

耐用期間

10年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

消耗品

（使用により、量などが減少していくもの）

スリップコート　　**補充は弊社営業所までご用命ください。**

損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

正常な使用において、定期的に交換が必要なもの

走行ベルト　/　スライダーデッキ

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕様

外形寸法	2180(L)×800(W)×1520～1720(H)㎜
走行面寸法	1600(L)×510(W)㎜
プリンタースタンド	610×610×930(H)㎜
標準ハンドレールの長さ	約 850 ㎜
ハンドグリップの高さ	1000　～　1060 ㎜
本体質量	140 ㎏
電源	AC100Ｖ　50/60 Hz　15A　アース付き専用線
電力	800/950W　(50/60 Hz)
モーター	ＤＣモーター
速度	正転時　0　～　16.0 ㎞/ｈ 逆転時　0　～　4.8 ㎞/ｈ 0.1 ㎞/ｈ単位で速度変更可能
傾斜	0　～　15%
心拍モニター	ハンドグリップセンサー
デッキ	厚さ 2.5 ㎝、両面テフロン加工
許容体重	182 ㎏まで
付属品	プリンター プリンターケーブル プリンタースタンド スリップコート データ転送ソフト RS232C 接続ケーブル

注）都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。